

## 平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 兼松エレクトロニクス株式会社  
 コード番号 8096 URL <http://www.kel.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長  
 四半期報告書提出予定日 平成21年8月13日  
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 榎本 秀貴  
 (氏名) 高橋 薫

TEL 03-5250-6823

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	8,610	△24.9	151	△72.6	194	△69.9	94	△75.0
21年3月期第1四半期	11,462	—	554	—	645	—	378	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
22年3月期第1四半期	3.31	—
21年3月期第1四半期	13.22	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
22年3月期第1四半期	35,976	28,962	80.5	1,012.58
21年3月期	39,389	29,664	75.3	1,037.14

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 28,962百万円 21年3月期 29,664百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
21年3月期	—	15.00	—	30.00	45.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	20.00	—	20.00	40.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期 連結累計期間	25,000	△4.2	2,200	△1.8	2,300	△2.9	1,300	△2.0	45.45
通期	50,000	0.3	4,400	1.8	4,600	1.3	2,650	3.6	92.65

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
 新規 一社 (社名 ) 除外 一社 (社名 )

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
 (注) 詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	28,633,952株	21年3月期	28,633,952株
② 期末自己株式数	22年3月期第1四半期	31,610株	21年3月期	31,529株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第1四半期	28,602,410株	21年3月期第1四半期	28,603,653株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、従いまして、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があることにご留意ください。なお、業績予想に関する事項は、資料の4ページをご参照ください。
2. 監査法人による四半期レビューは未了であります。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における国内経済は、一部には回復の兆しが見え始めたものの、企業収益の大幅な減少や雇用情勢が悪化する等、本格的な回復にはしばらく時間がかかるものと見られます。

国内IT業界におきましても、企業収益の悪化に伴いIT投資は低迷しており、引き続き厳しい状況が続きました。

このような環境下、当社グループはお客様への対応力を強化するため、ソリューション営業部門を増強するとともに、サービスビジネスに注力することにより、IT総合サービス会社へのさらなる飛躍を図ってまいりました。

なお、当第1四半期連結累計期間における売上高は、86億1千万円となり、前年同期比28億5千2百万円（前年同期比24.9%減）の減収となりました。営業利益は、1億5千1百万円となり、前年同期比4億2百万円（前年同期比72.6%減）の減益、経常利益は1億9千4百万円となり、前年同期比4億5千1百万円（前年同期比69.9%減）の減益、四半期純利益は、9千4百万円となり、前年同期比2億8千3百万円（前年同期比75.0%減）の減益となりました。

## 事業の種類別セグメントの状況

## (システム事業)

ネットワーク関連事業は、小規模なインフラ投資は堅調で、無線LANおよびセキュリティ関連製品の販売が順調に推移したため、前年同期に比べ微増となりましたが、ドキュメント関連事業、サーバー関連事業、ストレージ関連事業、エンジニアリング関連事業は、企業のIT投資抑制の影響を受け、前年同期に比べ減収となり、システム事業の売上高は、54億4千7百万円（前年同期比34.0%減）となりました。

## (サービス・サポート事業)

サーバー関連、ストレージ関連の保守契約は増加したものの、サービス料収入の減少により、サービス・サポート事業の売上高は、31億6千2百万円（前年同期比1.5%減）となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

### (資産の部)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて9.7%減少し、318億9千万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が35億4千7百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて0.1%増加し、40億8千5百万円となりました。これは、有形固定資産が5千5百万円減少したものの、投資有価証券が1億1百万円増加したことなどによります。

### (負債の部)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて30.6%減少し、63億7千6百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金の減少が12億3千3百万円、未払法人税等の減少が13億5千7百万円あったことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて19.5%増加し、6億3千7百万円となりました。これは、退職給付引当金が1億1千4百万円増加したことなどによります。

### (純資産の部)

純資産は、前連結会計年度末に比べて2.4%減少し、289億6千2百万円となりました。これは、四半期純利益9千4百万円の計上および配当金8億5千8百万円の支払いにより、利益剰余金が7億6千3百万円減少したことなどによります。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の75.3%から80.5%となりました。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、現時点において平成21年5月1日公表の業績予想から変更はありません。

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理および四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

② 繰延税金資産および繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	21,950,542	22,451,815
受取手形及び売掛金	5,301,730	8,849,318
リース投資資産	122,214	104,352
たな卸資産	2,388,011	1,743,923
繰延税金資産	432,252	542,607
その他	1,700,448	1,619,436
貸倒引当金	△4,405	△4,056
流動資産合計	31,890,793	35,307,396
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	234,808	241,144
車両運搬具(純額)	1,897	2,062
土地	93,000	93,000
その他(純額)	490,896	540,393
有形固定資産合計	820,603	876,599
無形固定資産		
のれん	112,776	128,149
その他	193,906	213,542
無形固定資産合計	306,683	341,692
投資その他の資産		
投資有価証券	1,550,247	1,448,690
長期貸付金	1,912	2,381
繰延税金資産	133,068	132,369
その他	1,336,004	1,344,846
貸倒引当金	△63,143	△64,914
投資その他の資産合計	2,958,089	2,863,374
固定資産合計	4,085,376	4,081,665
資産合計	35,976,170	39,389,062

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,572,545	3,806,164
リース債務	34,488	28,226
未払法人税等	14,870	1,372,185
賞与引当金	229,138	827,080
役員賞与引当金	6,100	33,984
その他	3,519,834	3,123,675
流動負債合計	6,376,977	9,191,316
固定負債		
リース債務	87,725	76,126
退職給付引当金	438,444	323,682
役員退職慰労引当金	109,826	131,820
その他	1,088	1,321
固定負債合計	637,084	532,950
負債合計	7,014,062	9,724,267
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	9,031,257	9,031,257
資本剰余金	8,177,299	8,177,299
利益剰余金	11,692,666	12,456,073
自己株式	△24,854	△24,786
株主資本合計	28,876,369	29,639,843
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	85,324	24,355
繰延ヘッジ損益	412	595
評価・換算差額等合計	85,737	24,950
純資産合計	28,962,107	29,664,794
負債純資産合計	35,976,170	39,389,062

(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	11,462,541	8,610,472
売上原価	8,163,027	6,168,127
売上総利益	3,299,514	2,442,345
販売費及び一般管理費	2,745,252	2,290,644
営業利益	554,261	151,701
営業外収益		
受取利息	31,394	24,246
受取配当金	21,122	14,927
受取補償金	38,095	—
雑収入	4,290	6,283
営業外収益合計	94,903	45,457
営業外費用		
支払利息	1,442	1,011
投資事業組合運用損		1,432
為替差損	1,697	
雑支出	289	611
営業外費用合計	3,428	3,055
経常利益	645,736	194,103
特別利益		
固定資産売却益	33	—
投資有価証券売却益	879	—
特別利益合計	913	—
特別損失		
固定資産除却損	4,045	825
固定資産売却損	87	—
特別損失合計	4,132	825
税金等調整前四半期純利益	642,517	193,277
法人税、住民税及び事業税	161,455	30,849
法人税等調整額	102,790	67,762
法人税等合計	264,245	98,611
四半期純利益	378,271	94,666

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	642,517	193,277
減価償却費	127,207	101,481
賞与引当金の増減額(△は減少)	△236,018	△597,942
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△278,058	114,761
前払年金費用の増減額(△は増加)	369,744	—
受取利息及び受取配当金	△52,517	△39,174
支払利息	1,442	1,011
売上債権の増減額(△は増加)	4,382,903	3,549,359
たな卸資産の増減額(△は増加)	204,858	△644,088
その他の流動資産の増減額(△は増加)	9,697	△88,056
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,669,966	△1,233,618
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△238,484	370,478
その他	△5,482	8,657
小計	2,257,845	1,736,147
利息及び配当金の受取額	46,350	41,902
利息の支払額	△1,442	△1,011
法人税等の支払額	△449,953	△1,408,734
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,852,800	368,303
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	—	△4,000,000
有形及び無形固定資産の取得による支出	△180,345	△19,649
有形及び無形固定資産の売却による収入	15,736	—
投資その他の資産の増減額(△は増加)	—	△419
その他	52,469	8,459
投資活動によるキャッシュ・フロー	△112,139	△4,011,609
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△429,054	△858,072
その他	△8	△67
財務活動によるキャッシュ・フロー	△429,063	△858,140
現金及び現金同等物に係る換算差額	83	173
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,311,681	△4,501,272
現金及び現金同等物の期首残高	18,519,950	22,451,815
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,831,631	17,950,542

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報

## 【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

	システム事業 (千円)	サービス・ サポート事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する 売上高	8,250,441	3,212,100	11,462,541	—	11,462,541
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	92,507	44,231	136,739	(136,739)	—
計	8,342,949	3,256,331	11,599,281	(136,739)	11,462,541
営業利益	383,397	168,203	551,601	2,660	554,261

(注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各事業区分の主な事業の内容

事業区分	主要な事業の内容
システム事業	総合情報システムの提案、システムインテグレーション、 ネットワークインテグレーション、ソフトウェア開発等
サービス・サポート事業	運用管理サービス、アウトソーシングサービス、システムの保守サービス

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

	システム事業 (千円)	サービス・ サポート事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する 売上高	5,447,942	3,162,530	8,610,472	—	8,610,472
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	87,612	41,988	129,600	(129,600)	—
計	5,535,554	3,204,519	8,740,073	(129,600)	8,610,472
営業利益又は営業損失(△)	△405,536	551,333	145,796	5,904	151,701

(注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各事業区分の主な事業の内容

事業区分	主要な事業の内容
システム事業	総合情報システムの提案、システムインテグレーション、 ネットワークインテグレーション、ソフトウェア開発等
サービス・サポート事業	運用管理サービス、アウトソーシングサービス、システムの保守サービス

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。